

令和7年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

令和7年度 WEC 応用生態研究助成の募集に、33 件のご応募をいただきました。

採択の審査にあたっては、外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性、若手研究者の将来性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。厳正なる審査の結果、下記の5件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が、良い成果を上げることを期待します。

令和7年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2025-01	魚類および水生昆虫環境 DNA による森林火災後の淡水生態系への影響把握	内田 典子	東北大学 災害科学国際研究所	1
2025-02	ダム湖は降湖型マスを安定して維持できるのか？一回遊年数変異と流入河川がもたらす資源量安定化効果の検証	佐藤 拓哉	京都大学 生態学研究センター	2
2025-03	北海道のダム湖周辺におけるオジロワシの営巣状況と 営巣を可能にする環境条件の解明	白木 彩子	東京農業大学 生物産業学部	1
2025-04	EPT 成虫はダムを超えられるか？一飛翔高度の実態と河川生態系の連続性—	中川 智裕	公立大学法人 熊本県立大学	1
2025-05	諏訪湖における、植物プランクトンを中心とした、窒素・炭素循環の解明	輿石 庸行	信州大学大学院 総合理工学研究科	1

また、令和6年度に2年研究として採択された下記2件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

令和6年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2024-03	ダム貯水池及び上・下流河川における水生生物の食物網を介した抗菌剤の挙動解析	伊藤 歩	岩手大学理工学部 システム創成工学科	2
2024-04	マツムラヒラタカゲロウのダム流出入河川における 遺伝的多様性の調査研究	高村 岳樹	神奈川工科大学	2